

(様式)

令和5年3月1日

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立新狭山小学校
校長 瀬戸口 秀之

令和4年度 狭山市立新狭山小学校学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。
※ 【評価の目安】

領域	番号	評価項目	職員自己評価		学校関係者評価委員から
			評価	説明	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	・毎月の安全点検と毎日の見回りによって不具合の早期発見・修繕を実施した。必要な個所は計画的に修繕して取り組んでいく。	・校内がきれいに整備されていました。職員や子供たちが丁寧に清掃されているたまのどと感じました。
	2	児童は、学校生活が楽しいと感じている。	A	・コロナウイルス感染予防をしながら、行事を変更しながら、先生方の協力のもと子供たちのためになる行事を計画実践できた。	・コロナウイルス感染予防に留意しながら、日常生活や行事など臨機応変に対応している様子、先生方が協力して学校運営に携わっていると感じました。
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	・児童の無言清掃の徹底が不十分であった。	・施設の維持管理においては、引き続き点検等により適正に管理するとともに、事故防止に努めていただきたいと思います。
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	・校長先生をはじめ職員全体で学級を見て協力体制ができています。	・コロナ禍が続く中でも、子供たちの安全を第一にされ、安心して子供たちが明るく元気に過ごせる環境がつけられている。
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A	・職員の備品の使用後の片付けがおろそかになっている。使用後のかたづけを徹底する。	・タブレットによる動画配信授業は、保護者にとって授業参観にもなっており、授業の様子がわかることで、先生への信頼や安心につながっている。
学習	6	教師は、児童が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	A	・学校行事はコロナに配慮しつつ行えてよかった。児童が生き生きと取り組んでいる姿を見ると、改めて重要だと感じた。	・廊下や教室の図工作品が、生き生きとしていて、色遣いやデザイン、立体の構成など表現力があると感じました。専科制を導入した効果が出ていると思います。
	7	児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A	・校内研究では全職員で国語の授業について目指す児童像を各学年で設定し、取り組んでいる。	・自分の考えを文章に表せる児童(掲示物)が高学年になると多くなっていました。タブレット学習も必要ですが、書くことの指導も引き続きお願いします。
	8	児童は、基礎的基本的な学力を身につけている。	A	・一部教科担任制は、学年全体を見るという点で良い。	・様々な授業や活動の中に発表の場を多々設けることで、積極性や自己表現力、コミュニケーション力、他人を思いやる学習場となっている。
	9	児童は、家庭学習の習慣を身につけている。	B	・家庭学習の習慣化については、個人差が大きく、2極化が見られている。	・欠席した児童に対し、タブレットを活用した授業を行っている点は大変評価できると思います。今後も、さまざまな理由で登校できない子供達と学校をつなぐ機会を充実させていただきたいと思います。
	10	児童は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B	・タブレットを活用した授業について、さらなる研修が必要。校内研修の充実。	
規律ある態度	11	児童は、進んであいさつをしている。	A	・言葉遣いについては、使い方が気になるところがある。職員間でも子供に対しても相手を意識した話し方を心掛ける必要がある。	・集団の中で相手の気持ちを考え、助け合って生活していく、ということをお教えるのが学校の役割だと思います。個性の尊重と全体の中の一員ということをバランスよく教えていくことがますます大切だと思います。
	12	児童は、場に応じた言葉遣いができている。	A	・保護者アンケート等にも真摯に耳を傾け、自覚を持って服務している。	・児童はとても明るく元気で何よりです。自分からあいさつできる子供に、これからもご指導お願いします。
	13	児童は、時間を守って生活している。	A	・学校が楽しいと言って登校している児童が多い。	・子供たちのトラブルや問題行動について、丁寧に指導をされている。子供達は、学校以外でもきちんと挨拶をし、規律を守って行動していると感じます。こうした規律ある態度の習得には先生方のご指導の他、校外学習の体験等も活かされているのではと思います。
	14	児童は、きまりを守って生活している。	B		・「学校が楽しい」と言ってくれるお子さんが多いことは嬉しいです。先生方の日々の関わりの成果だと感じます。
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A		
健康・体力	16	学校は、児童の体力を高めている。	A	・コロナ感染予防に留意しながら、工夫して体力向上に努めている。また、鉄棒検定や縄跳び検定を通して児童の意識も高めている。	・コロナ感染予防に留意しながら、体力向上の工夫をしていただいていることに感謝いたします。コロナ禍における制限はあると思いますが、子供達は元気に外遊びをしていて、学校以外でも屋外で遊ぶ子供達の姿を見かけます。今後も、子供達の体力向上に積極的に取り組んでいただきたいと思います。
	17	児童は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	・いきいきタイム(業前保健指導)や保健学習を通して、健康について指導し、児童の知識・理解を深めている。	・様々な工夫のもと体力向上に努められていることがお便りや報告から伝わりました。
	18	児童は、健康を意識した生活をしている。	A	・マスクの着用、手洗いの徹底などを意識しながら生活している。	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	・スクリーン配信をはじめ、一斉メールやホームページ等を通して、積極的に情報公開をしている。	・地域や保護者との連携が大変よく取れている様子がうかがえます。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A	・学校の行事や活動に対して協力的な保護者や地域の方が多く、連携・協力が図れている。学校応援団の活動もコロナ対策をしながら活動を推進している。	・家庭教育、社会教育を学校教育と連携させていくために、協働活動を行うための環境づくりを今後も発展させていって欲しい。 ・スクリーン等による情報発信は、利便性だけでなく、紙の使用量削減や業務の効率化でも有効。